

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：天才キッズクラブ楽学館溝の口園	種別：認可保育所	
代表者氏名：曾我部 直子	定員（利用人数）： 60名（利用人数：60名）	
所在地：〒213-0001 川崎市高津区溝口3-11-20		
TEL：044-281-3930	ホームページ： https://www.tensaikids.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2018年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社TKC		
職員数	常勤職員：12名 非常勤職員：9名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士：15名 子育て支援員：2名	
	看護師：1名 保育補助：2名	
	養護教諭：1名 事務員：1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室：2室	園庭：無
	トイレ：5ヶ所	
	調理室：1ヶ所	
	事務室：1室	
	職員休憩室：1室	

③ 理念・基本方針

<p>【法人理念】</p> <ul style="list-style-type: none">●子ども一人一人を大切にし保護者から」も信頼され地域に愛される保育園を目指し、子どもの最善の利益を考え創意工夫する●大人も子どもも楽しめる「世界一ワクワクする保育園」●ここ来ると皆元気になれる「地域のパワースポット」 <p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none">●全ての子どもが天から授かった才能を持っている」という理念に基づき色々なチャレンジをし、成功体験と失敗体験から「生きる力」を育てる●教えない、やらせない、無理強いしない <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none">●乳幼児それぞれの時期に、一人一人の子ども天から授かった潜在能力を引き出しIQ（学力）EQ（心力）GQ（元気力）のバランスの良い子どもを育てる●教えない（やらせるのではなく、自分で学んでいく力をつける）●競争する（「勝ちたいという気持ち」は子どもを大きく成長させます）●子ども扱いしない（できることを前提に多くのことにチャレンジする）●習慣（挨拶、早寝早起きなどの基本的な死活習慣を身につける）、

●体力づくり（運動することで健康な体を作る）で脳への刺激を与えることにより、集中力を高める

④施設・事業所の特徴的な取組

天才キッズクラブ楽学館溝の口園は、南武線武蔵溝の口駅と東急田園都市線高津駅から徒歩園内に位置する認可保育園です。
保育者は法人理念のもと、子どもたちが自ら楽しんで活動できるようにまずは、保育者自身が楽しむことを大切にしています。
保育活動は「やらせない、教えない、無理強いしない」という保育理念のもと、体を動かす活動や椅子に座って集中して取り組む活動の両方を、楽しく遊びの中で習得できるようにしています。特に運動面では、子どもたち自ら目標を決めて、何度も何度も挑戦して、失敗と成功を繰り返し、「諦めなければ出来るようになる」ということを体験し「生きる力」を育てています。そして、その姿を他の子どもたちが見て「仲間の頑張っている過程を認める」という応援文化も自然と身につけています。また、「今日のスーパーハッピー」として毎日一人の子を保育者がピックアップして、その子の良い所を見つけて褒めてみんなの前で発表することを習慣にしています。年齢を重ねていくと保育者だけでなく、子どもたちもその子の良い所を見つけて発表するようになっていきます。自分の考えを人前で発表する経験は小学校でも活かされています。そんな家庭ではできない経験に保護者の多くが満足してくれています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年9月22日（契約日）～ 令和5年4月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ - 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)体操やミュージカルなどカリキュラムが充実しています

保育理念のひとつ「全ての子どもが天から授かった才能を持っている」に基づき様々なチャレンジをし、成功体験と失敗体験から「生きる力」を育てることを挙げており、幼児クラスからはミュージカル、体操、Englishといったカリキュラムを充実させています。外部の講師を招いて行われるこれらのカリキュラムは、子どもたち、また保護者に好評です。職員もこれらのカリキュラムに併せて時間調整などをこまめに行い、楽しめるように支援しています。

2)他者を理解し、尊重する教育が行き届いています

園では、園長及び職員の間で「今日のスーパーハッピー」を決めて、他者を称え尊重する等、互いに能力を高め合う環境があります。区からの紹介で清掃ボランティアとして交流があった方が現在保育補助として勤務しています。ボランティアとして子どもと関わるなかで、子どもたちや保育士からも認められ、本人の能力や向上心も高く、園での勤務に繋がりました。この取組は子どもたちの間でも行なわれており、他者を理解し尊重する教育が行き届いています。

3)食事が楽しめるプログラムが充実しています

食育計画の一環で、調理の下ごしらえの手伝いをしたり、幼児はプランターで野菜を育て、ゴーヤのジャム作りをするなど、子どもたちが食材に触れ、食事に関心を持てる活動をしています。月々の行事食として恵方巻、鬼のケーキ、クリスマスツリーのサラダやケーキ、また、夏休みの焼きそばなど、子どもたちは食事を楽しみ喜んでい

ます。お楽しみ給食や卒園前のバイキングなど、プログラムも充実しています。

4)働きやすい環境の提供に努めています

園長は自己評価後の面談時などで、職員からの意見や希望を聴き、改善に努めています。また、全クラスの年間指導計画・月週日案と振り返りに目を通しており、必要時には担任と個別に話し合いながら新しい取組を提案したり、担任からの相談に応じています。人員配置については、戸外へ出かける頻度を考慮し、職員の負担軽減に向けて1名多く配置しています。オンライン専用の部屋を確保し、職員が研修を受けやすい環境整備も行っています。職員のワーク・ライフ・バランスへの配慮では非常勤職員の産休、育休取得も実践し、職員の働きやすい環境整備に取り組んでいます。

5)理念や基本方針の実現に向け、中・長期計画の策定が期待されます

法人では中・長期計画に関しては、法人理念、保育理念の実現に向けた基本方針は明示され検討されていますが、中・長期計画の策定はされていません。法人内での会議では、事業の方向性は示されていますが、具体的な数値目標、成果、今後の予定、実施状況などは説明されておらず課題となっています。まずは理念の実現に向け、各園での課題などを収集分析し、法人としての重点課題を抽出し、解決に向けた中・長期計画を立てることが必要です。今後が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今年度初めて第三者評価を受審させていただきました。改めて本園の行ってきた保育を見直し、これで良かったんだと安心できた部分や、さらに良い保育ができるよう課題となる部分を職員全体で共有することができました。評価員の方が大変ユーモアのある方で緊張もほぐして頂き、率直な意見をお聞きし、良いところや努力してきたところを認めて下さり、前向きな気持ちになりました。また保護者の方からの日頃の感謝の言葉を多くいただき感謝の思いでいっぱいです。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり